

Title	日本語・日本文化研究 第33号 奥付
Author(s)	
Citation	日本語・日本文化研究. 2023, 33, p. 177-179
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/95383">https://hdl.handle.net/11094/95383</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 執筆者紹介（目次順）

鴻野 知暁	(本学人文学研究科日本学専攻応用日本学コース講師)
金谷 由美子	(本学非常勤講師)
田中 太一	(本学非常勤講師)
吉川 夏渚子	(本学非常勤講師)
池部 尊則	(ISI ランゲージスクール専任講師)
マジョール ロドリゲス ホルヘ ダニエル	(本学博士後期課程 D3)
チャン クオック ヒエップ	(本学博士後期課程 D2)
李 煥然	(本学博士後期課程 D1)
オトゴンジャルガル ドルギオン	(本学博士後期課程 D1)
ソック ソワンロッター	(本学博士後期課程 D1)
市来 海唯	(本学博士前期課程 M2)
田中 伶弥	(本学博士前期課程 M2)

(2023 年 12 月現在)

## 編集後記

大学院人文学研究科日本学専攻応用日本学コースが発足してから2号目となる『日本語・日本文化研究』第33号が無事出版の運びとなった。今号では、日本語学、対照言語学、社会言語学、日本語教育学といった多岐にわたる分野から14件のエントリーがあり、最終的に11本の論文が掲載されることとなった。意欲的な論文を投稿してくださった執筆者の方々、丁寧に査読をしてくださった先生方、そして編集を効率よく進めてくださった株式会社あおぞら印刷様に心より謝意を表したい。

応用日本学コースの活動としてはコロナ禍で休止となっていたチューラーロンコーン大学・大阪大学院生研究交流会が再開され、活発な研究発表が行われた。ここでの口頭発表をもとに論考を深め、投稿された論文もある。『日本語・日本文化研究』が大学院生の口頭発表から論文執筆に至る体系的な研究活動を後押しする媒体となることを今後も期待したい。(S)

日本語・日本文化研究 第33号

2023年12月1日

編集者：大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻応用日本学コース  
『日本語・日本文化研究』編集委員会

発行所：〒562-8678 大阪府箕面市船場東3丁目5-10

大阪大学大学院人文学研究科日本学専攻応用日本学コース

印刷所：〒604-8431 京都市中京区西ノ京原町15

株式会社 あおぞら印刷